

宇都宮市立宮の原小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る指導	- 分かる授業の展開 - 振り返りの時間の確保 - 効果的な指導形態の工夫 - モジュール学習の充実 - 家庭学習の充実	・3年生以上への質問で、授業が分かると答えた割合がどの学年も市の平均よりも高かった。 ・家庭学習の時間について、どの学年も市の目標時間を上回る時間取り組んでいる児童が多かった。
思考力・判断力・表現力の育成を図る指導	・思いをもつための書く活動の充実 ・発問及び活動の工夫 ・伝え合う場の設定 ・進んで伝え合う活動の工夫	・「グループなどでの話し合いに自分から積極的に参加していますか」の質問に対する肯定割合は6学年中4学年で市の平均を上回った。また、「自分の考えを理由・根拠をあげながら話すことができる」の質問に対する肯定割合は、全学年で市の平均を上回った。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

- ・引き続き、各教科の基礎的・基本的内容の定着を図りつつ、発展的な課題にも積極的に取り組んでいく。
- ・家庭学習については、強化週間等の取組を継続しながら、内容の充実にも取り組んでいく。
- ・話し合いを通して考えを広げたり深めたりする学習を工夫し、ものごとをいろいろな視点や立場から考える力をはぐくんでいく。
- ・基礎的・基本的な学習内容については比較的良好に身に付いているが、発展的・応用的な問題に対応する力が弱いので、各教科の各単元におけるまとめの時間等で、発展的な応用問題を積極的に取り上げたり、習熟度別学習の機会を生かして、児童が意欲的に発展的な問題に取り組めるような機会を増やしたりしていく。また、A Iドリル等を有効に活用していけるようにする。